

事業事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事業名	田沢湖観光協会補助金				
担当係名	観光課		観光係	作成者	細川秀清
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	観光客受入態勢の整備			29
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域振興に寄与するために、観光客の誘客を図る。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	観光の振興をととして、地域の活性化を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・誘客のための宣伝事業、動向調査・研究・イベントの実施 ・観光情報の提供・観光案内・受入体制の整備

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	会員数	人	194	195	
効果	成果指標	田沢湖地区観光客数	人	2,707,184	2,573,971	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			7,300	7,600	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		7,300	7,600	
	人件費 (B)		—	0	0	
		職員数	—	0.0	0.0	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—	7,300	7,600	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	37,629	38,974	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	229	242	

【事務事業の今までの成果】

観光宣伝の効果等により、乳頭温泉郷・玉川温泉などは日本でも指折りの人気となる温泉地となるなど、田沢湖地区全体が観光地として一定の評価を得ている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国で観光庁の設置やビジットジャパン運動の展開等観光産業を推進している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	イベントの有効性等見直しの必要な事業もある。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	市内の3観光協会の合併を念頭におきながら、他の観光協会と連携し事業を推進する必要がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・イベントの今後のあり方について、検討の必要あり。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	行政、観光関係団体等それぞれが一体となった取組が必要となる。そのために3つの観光協会の連携（合併）を推進して事業に努めていただきたい。

一次評価診断図

